

非稼働病床の活用について

医療機関名	非稼働病棟	病棟を稼働していない理由	当該病棟の今後の運用見通しの関する計画	その他 (非稼働病棟 の活用につい ての意見等)
北斗病院	南4階病棟 療養病床40床	<p>主として看護師・看護補助者の採用難、また勤務している看護師の産休育休取得者の増加により、病棟を開けるのに必要な人数が、確保できていないためです。</p> <p>過去3年間において、合計で66名の看護師を採用しておりますが、産休育休取得者と退職者が54名出ており、看護師総数としては、病棟を開けるのに必要な人数まで増加していないのが現状です。</p> <p>育休より復帰してきている職員もおりますが、大半が夜勤不可能な日勤常勤又は非常勤の勤務であり、特に夜勤可能な常勤看護師が不足しております。</p>	<p>採用活動には力を入れており、必要な職員数が集まり次第、病棟を開く予定です。病棟を開く時期としては、本年秋～冬頃に行いたいと考えております。</p> <p>また、院内託児所の機能を強化し、夜間・休祝日の対応や病児保育を可能とすることで、子育て中の看護師が夜勤・休祝日勤務に対応してもらえるように検討しております。</p>	特になし
がんセンター愛知病院	感染症病棟 一般病床6床	<p>当該病棟は、第二種感染症指定医療機関としての感染症病棟(6床)である。2009年度に新型インフルエンザで7名が入院したが、その後、2類感染症及び新型インフルエンザの発生がなく、患者を受け入れていない。</p>	引き続き第二種感染症指定医療機関として、感染症患者の受入れに備えていく。	特になし
岡崎南病院	一般病棟 一般病床10床	<p>看護職員の不足により夜勤平均時間数(入院基本料施設基準)が、基準値を超えるため、稼働できず10床休床としている。</p>	<p>今後は病棟種別変更と施設基準適合するように改修工事を行い、休床ベッドを含め、病棟種別の変更をし、休床ベッドの稼働を目指す予定である。</p>	特になし
小島眼科クリニック	一般病床3床	<p>全麻術後の事態に対して、予想外の状態に対する備えとして用意しているものの、日帰り全麻手術として対応できているため。</p>	<p>全麻手術を完全に行わなくなれば、不要となりますので、数年後には、必要なくなると考えています。</p>	特になし
耳鼻咽喉科気管食道科 康生医院	一般病床4床	<p>元来、術後患者用だが、最近手術適応の患者がいないため。</p>	<p>とりあえずは、現状のままで、今後の手術患者の増加を図る。</p>	特になし
山中産婦人科	一般病床10床	<p>婦人科小手術後の一時的休憩や人工妊娠中絶後の経過観察に使用している。入院扱いにはならない。</p>	同左	特になし
鍋田眼科医院	一般病床7床	<p>現在、白内障手術や点滴治療の際には、病床を利用している。</p> <p>白内障手術では、週10件程度施行し、その際は、翌日と2日間使用している。入院患者を収容しなかったという解釈というよりは、宿泊の入院ではなく、日帰り入院として使用しております。</p>	<p>現在の白内障手術のリカパリーに使用するのももちろん。新しく硝子体手術をできるように手術機械も購入しており、なお、ドクターの雇用も考えております。</p> <p>3年前に法人化したものその理由です。</p>	特になし